

# 秀島敏行 後援会だより



## 会長、市長と 今後の佐賀市を かたる



〈会長〉日本が危ない！と言われているが、「公」の欠如が日本を弱めてきたと思う。「公」とは世のため人のため、公平であることと思う。「官」という概念より「公」という概念を行政は徹底してほしい。

〈市長〉これまで、「官から民へ」という表現で物事が動いてきた傾向があるが、簡単にそういう分け方では捉えにくい場面がある。たとえば市民の河川清掃や地域の子ども見守り隊などの活動は、市民と行政の協力で行われている。市民の協力の力が大きくなると行政コストは小さくなり地域の絆が強まりぬくもりができる。

それを強める取り組みがいま行政に求められていると思う。「自分たちでできることは自分たちでやる。」ということは「公」の概念だと思う。

〈会長〉日本は地縁社会から利益社会へと発展してきた。しかし、今、ここで利益とは関係ない「おすそ分け」という言葉に代表されるあたたか味のある人間関係を取り戻す必要があると思う。

〈市長〉佐賀市は浸水対策に力を入れています。大雨時は満潮三時間前に蒲田津水門を閉め、佐賀江川に貯留ポケットを確保するなど、佐賀江川、八田江、新川を相互に連携した排水対策を試みています。そんなことが出来るようになったのも、上・下流地区の皆様の相互理解が合併により深まったからだと考えます。

〈会長〉嘉瀬地区では、今年バルーンフェスタの時に案山子をたくさん作って観客に見てもらおうそうだ。住民の協働の例だ。

〈市長〉材木の需要を下流が支えている。「海苔」の共同乾燥施設は従来鉄骨だったが、木造に変えてもらっている。今後の公民館の建設も木造だ。産業が結びつくことで人もつながっていく。

〈会長〉平坦志向の市民が立体的視点を持てる  
と市はもっと発展するだろう。





# 豊かな佐賀、私たちはひとつ!!

新しい佐賀市ができて4年経ちました。この4年間各エリアの持ち味に焦点を当て、それまで持っていた地域の良さを磨いてきました。そろそろ、佐賀市全体の力をまとめたものにして、骨太のバックボーンを持つたくましい佐賀市にまとまっていく時です。

私たちの住む佐賀市がどんなまちかを全体的に捉えてみました。

各エリアを大切にしながらも大きくなったまちをイメージして暮らしていくことは意味のあることです。

佐賀市は豊かなところだと思いませんか？



スキー



熊の川温泉

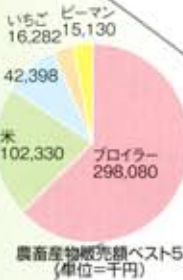


古湯温泉

## 富士エリア



## 三瀬エリア



### 三瀬そば街道

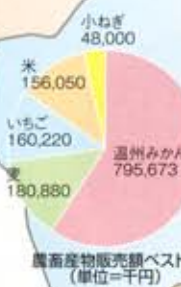


どんぐり村

### 観光農園



## 大和エリア



### 佐賀錦



佐賀城下ひなまつり



佐賀城本丸歴史館



神野公園こども遊園地

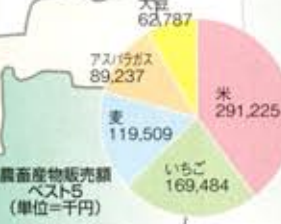
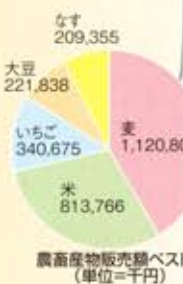


長崎街道と恵比寿さん

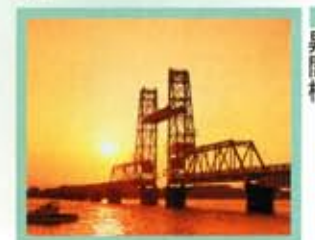


徐福サイクルロード

## 旧市エリア



## 諸富エリア



昇開橋

## 久保田エリア



## 東与賀エリア



## 川副エリア



海童神社奉納浮立



新北神社



牡蠣焼き



面浮立



精霊流し



じゃぶじゃぶ池(干潟よか公園)



シチメンソウ



大瀬・授産社瀬防



有明海の家苅ひび



佐野常民記念館



# 佐賀市には自然の恵みがいっぱい 花もダンゴもタップリ

## 花 編



■多布施川河畔公園(桜)



■高伝寺(梅)



■嘉瀬川堤防沿い(菜の花)



■東与賀町(モクレン)



■平松しゃくなげ園(しゃくなげ)



■帯隈山(エヒメアヤメ)



■大和町中央公園花しょうぶ園(菖蒲・睡蓮・アジサイ)



■蓮池公園(菖蒲)



■天山ラベンダー園(ラベンダー)



■ひょうたん島公園(ひまわり)



■旧市内のイチョウ並木(イチョウ)



■雄淵雄淵溪谷(紅葉)



■全立公園コスモス園(コスモス)

## 花ごよみ



## ダンゴ編



後援会事務所へお出かけください。

秀島敏行後援会事務所は、月曜日～金曜日の  
13:00～17:30開けております。祝日は休み。

(所在地)〒840-0042 佐賀市赤松町11番35号 ハイッゲン201号  
(TEL)0952-28-7177 (FAX) 0952-29-8618

※ 後援会は皆様の会費や寄付で運営しています。  
納付については事務所までお問い合わせ下さい。

